

第25期【償還】

運用報告書(全体版)

グローバル・エクセレント・オープン (愛称 世界連峰)

【2020年5月20日償還】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「グローバル・エクセレント・オープン
(愛称 世界連峰)」は、2020年5月20日をもちま
して信託約款の規定に基づき、繰上償還となりました。
ここに設定以来の運用経過及び償還内容のご報告を
いたしますとともに、皆様のご愛顧に対し改めて
お礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご
愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2008年2月28日から2020年5月20日(当初無期限)までです。	
運用方針	グローバル・エクセレント・マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、主として世界の株式(DR(預託証券)を含みます。)に投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。主として世界の株式(DR(預託証券)を含みます。)の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資します。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	世界の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	グローバル・エクセレント・マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年2月26日および8月26日(それぞれ休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500 指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期 騰 落 率			
(設定日) 2008年2月28日	円 銭 10,000	円 —	% —	ポイント 1,380.02	% —	ポイント 329.39	% —	% —	% —	百万円 3,229
1期 (2008年8月26日)	9,399	0	△ 6.0	1,266.84	△ 8.2	282.15	△14.3	90.0	—	2,638
2期 (2009年2月26日)	5,112	0	△45.6	764.90	△39.6	172.31	△38.9	90.2	—	731
3期 (2009年8月26日)	6,946	0	35.9	1,028.00	34.4	237.84	38.0	81.0	—	990
4期 (2010年2月26日)	6,754	0	△ 2.8	1,102.94	7.3	243.29	2.3	88.5	—	590
5期 (2010年8月26日)	6,211	0	△ 8.0	1,055.33	△ 4.3	247.54	1.7	85.6	—	407
6期 (2011年2月28日)	7,260	0	16.9	1,319.88	25.1	284.12	14.8	88.8	—	400
7期 (2011年8月26日)	6,015	0	△17.1	1,159.27	△12.2	227.07	△20.1	83.8	—	274
8期 (2012年2月27日)	6,890	0	14.5	1,365.74	17.8	264.77	16.6	92.8	—	263
9期 (2012年8月27日)	6,373	0	△ 7.5	1,411.13	3.3	268.00	1.2	91.5	—	189
10期 (2013年2月26日)	7,955	0	24.8	1,487.85	5.4	288.40	7.6	94.0	—	202
11期 (2013年8月26日)	9,100	0	14.4	1,663.50	11.8	304.71	5.7	94.7	—	200
12期 (2014年2月26日)	10,268	100	13.9	1,845.12	10.9	338.39	11.1	95.7	—	433
13期 (2014年8月26日)	10,401	100	2.3	1,997.92	8.3	340.46	0.6	95.5	—	257
14期 (2015年2月26日)	11,913	400	18.4	2,113.86	5.8	386.76	13.6	92.7	—	180
15期 (2015年8月26日)	10,760	200	△ 8.0	1,867.61	△11.6	356.36	△ 7.9	93.0	—	143
16期 (2016年2月26日)	10,007	0	△ 7.0	1,951.70	4.5	326.54	△ 8.4	83.4	—	124
17期 (2016年8月26日)	9,645	0	△ 3.6	2,172.47	11.3	342.02	4.7	91.6	—	118
18期 (2017年2月27日)	11,194	300	19.2	2,367.34	9.0	370.01	8.2	94.2	—	125
19期 (2017年8月28日)	11,357	100	2.3	2,443.05	3.2	374.07	1.1	92.3	—	122
20期 (2018年2月26日)	12,118	300	9.3	2,747.30	12.5	381.16	1.9	90.6	—	153
21期 (2018年8月27日)	12,774	400	8.7	2,874.69	4.6	383.56	0.6	91.9	—	158
22期 (2019年2月26日)	11,797	300	△ 5.3	2,796.11	△ 2.7	372.18	△ 3.0	91.0	—	75
23期 (2019年8月26日)	10,885	200	△ 6.0	2,847.11	1.8	371.36	△ 0.2	89.9	—	67
24期 (2020年2月26日)	12,035	300	13.3	3,128.21	9.9	404.60	9.0	84.0	—	66
(償還時) 25期 (2020年5月20日)	(償還価額) 10,996.18	—	△ 8.6	2,922.94	△ 6.6	339.49	△16.1	—	—	53

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) S&P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。なお、両指数とも当該日前営業日の現地終値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、株式組入比率および株式先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率=買建比率-売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

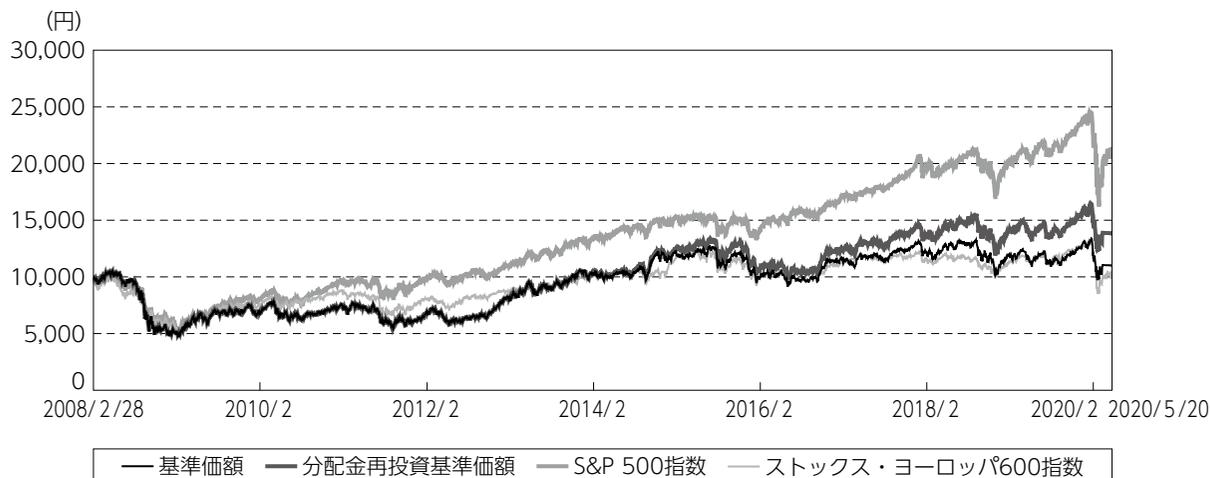
年 月 日	基 準 価 額		S & P 5 0 0 指 数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円 銭	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2020年2月26日	12,035	% —	ポイント 3,128.21	% —	ポイント 404.60	% —	% 84.0	% —
2月末	11,601	△ 3.6	2,978.76	△ 4.8	389.45	△ 3.7	83.4	—
3月末	10,767	△10.5	2,626.65	△16.0	314.88	△22.2	83.4	—
4月末	11,027	△ 8.4	2,939.51	△ 6.0	347.06	△14.2	—	—
(償還時) 2020年5月20日	(償還価額) 10,996.18	△ 8.6	2,922.94	△ 6.6	339.49	△16.1	—	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の運用経過

設定以来の基準価額等の推移

(2008年2月28日～2020年5月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、S&P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数です。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、設定日(2008年2月28日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

設定以来の投資環境

(2008年2月28日～2020年5月20日)

世界株式市場は、設定日から2009年3月にかけては、米国の金融機関の破綻など信用不安が高まる中、景気悪化の深刻化が懸念されたことから下落しました。その後、2009年末にかけては景気対策への期待と金融システム不安の解消を受けて株価は反発しました。2010年から2011年にかけてもみ合う局面が続いた後、2012年から2015年前半にかけては、米国の金融緩和策が長期化するとの見方が続く中、景気や企業業績の回復期待の高まりを背景に上値を試す展開が続きました。2015年後半から2016年初頭にかけては、ギリシャの債務問題や中国人民元の実質的な切り下げを受けて、世界的に景気減速懸念が強まり、下落しました。2016年3月から2018年初頭にかけては、欧州金融機関の財務問題への警戒感が後退したことや、米大統領選挙に勝利したトランプ氏が財政出動や金融規制緩和を行うとの期待が高まったことから、上昇基調が続きました。2018年2月から12月にかけては、米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げが懸念されたことに加え、米中通商摩擦への警戒感が強まったことから下落しました。2019年は、FRBが景気の下支えに前向きな姿勢を示し、金融緩和期待が浮上したことや米中通商摩擦への懸念が後退したことから上昇しました。2020年に入ってから償還日にかけては、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念から変動の激しい展開となりました。

設定以来の当ファンドのポートフォリオ

（2008年2月28日～2020年5月20日）

<グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）>

主要な投資対象である「グローバル・エクセレント・マザーファンド」の組入れを高位に維持して運用いたしました。

○グローバル・エクセレント・マザーファンド

運用にあたっては、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式に投資を行いました。マクロ環境や企業業績動向を分析し、セクターウェイト及び銘柄選択を重視した投資を行いました。エリア別では、基本的には米国や欧州などの先進国のウェイトを高位としましたが、新興国において金融緩和による景気回復期待が高まる局面では、新興国のウェイトを引き上げる対応をとりました。2020年4月上旬には、償還に向けて保有株式の売却を進めました。なお、組入外貨建て資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いませんでした。

設定以来の当ファンドのベンチマークとの差異

（2008年2月28日～2020年5月20日）

分配金も考慮した当ファンドの設定以来の基準価額は上昇となりました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているS&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数はともに上昇しました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年 2 月27日～2020年 5 月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	42 (20) (20) (2)	0.374 (0.177) (0.177) (0.020)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	5 (5)	0.047 (0.047)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.005 (0.005)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	13 (13) (0) (0)	0.118 (0.115) (0.003) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、カストディアンに支払う認証費用等
合 計	61	0.544	
期中の平均基準価額は、11,131円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

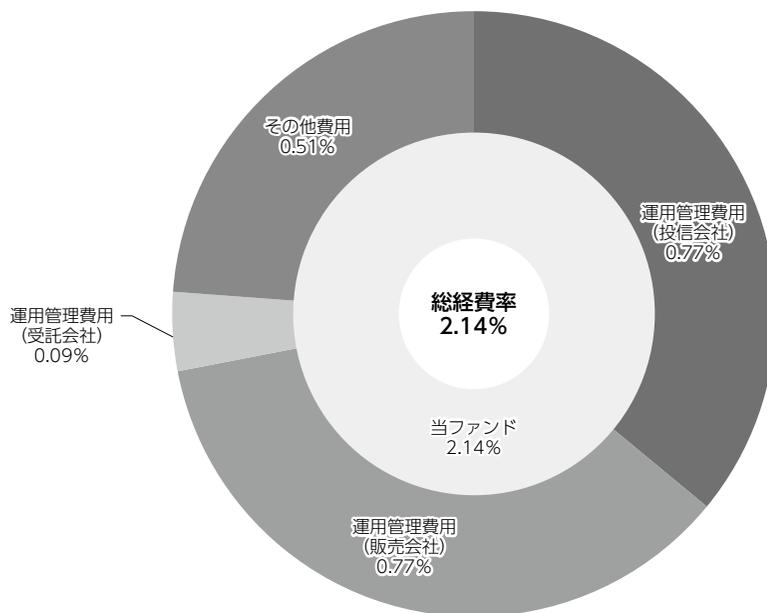
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第 3 位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



(注) 当ファンドの費用は1万円当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年2月27日～2020年5月20日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・エクセレント・マザーファンド	千口 667	千円 1,193	千口 34,919	千円 59,021

（注）単位未満は切捨て。

○株式売買比率

（2020年2月27日～2020年5月20日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	グローバル・エクセレント・マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	49,213千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	50,432千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.97

（注）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

（2020年2月27日～2020年5月20日）

利害関係人との取引状況

<グローバル・エクセレント・オープン（愛称 世界連峰）>
該当事項はございません。

<グローバル・エクセレント・マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株 式	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 49	百万円 1	% 2.0

平均保有割合100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額 (A)	27千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額 (B)	1千円
(B) / (A)	7.0%

(注) 売買委託手数料総額は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2020年5月20日現在)

有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘 柄	期	首(前期末)
	口	数
グローバル・エクセレント・マザーファンド		千口 34,251

(注) 口数の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年5月20日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 54,004	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	54,004	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2020年5月20日現在）

項 目	償 還 時 期
	円
(A) 資産	54,004,074
コール・ローン等	54,004,074
(B) 負債	215,166
未払信託報酬	213,369
未払利息	93
その他未払費用	1,704
(C) 純資産総額(A-B)	53,788,908
元本	48,915,976
償還差益金	4,872,932
(D) 受益権総口数	48,915,976口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,996円18銭

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.099618円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は55,210,354円、期中追加設定元本額は6,125円、期中一部解約元本額は6,300,503円です。

○損益の状況（2020年2月27日～2020年5月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 186
受取利息	8
支払利息	△ 194
(B) 有価証券売買損益	△4,864,712
売買益	832,809
売買損	△5,697,521
(C) 信託報酬等	△ 215,083
(D) 当期損益金(A+B+C)	△5,079,981
(E) 前期繰越損益金	7,320,744
(F) 追加信託差損益金	2,632,169
(配当等相当額)	(3,756,153)
(売買損益相当額)	(△1,123,984)
償還差益金(D+E+F)	4,872,932

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2008年2月28日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年5月20日		資産総額	54,004,074円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	215,166円
				純資産総額	53,788,908円
受益権口数	3,229,590,000口	48,915,976口	△3,180,674,024口	受益権口数	48,915,976口
元本額	3,229,590,000円	48,915,976円	△3,180,674,024円	1万口当たり償還金	10,996円18銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第5期	656,091,520円	407,517,859円	6,211円	0円	0.0000%
第6期	551,692,841	400,510,709	7,260	0	0.0000
第7期	456,288,167	274,461,246	6,015	0	0.0000
第8期	381,972,266	263,161,743	6,890	0	0.0000
第9期	297,601,830	189,672,311	6,373	0	0.0000
第10期	254,431,957	202,408,678	7,955	0	0.0000
第11期	219,822,562	200,044,744	9,100	0	0.0000
第12期	422,268,820	433,585,987	10,268	100	1.0000
第13期	247,299,827	257,224,752	10,401	100	1.0000
第14期	151,451,254	180,425,974	11,913	400	4.0000
第15期	133,808,648	143,975,910	10,760	200	2.0000
第16期	124,546,267	124,628,251	10,007	0	0.0000
第17期	122,746,267	118,392,117	9,645	0	0.0000
第18期	112,362,204	125,772,995	11,194	300	3.0000
第19期	107,995,824	122,650,814	11,357	100	1.0000
第20期	126,496,559	153,282,945	12,118	300	3.0000
第21期	124,303,047	158,787,019	12,774	400	4.0000
第22期	63,603,064	75,031,349	11,797	300	3.0000
第23期	62,427,290	67,953,887	10,885	200	2.0000
第24期	55,210,354	66,444,041	12,035	300	3.0000

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金	10,996円18銭
-----------	------------

＜お知らせ＞

- ・ファンドにつきましては、受益権口数が投資信託約款の繰上償還に関する規定である5億口を下回る状態が継続しており、また残高の大幅な増加も見込みにくいと推測されることから、投資信託契約を解約し、受益者の皆さまからお預かりした運用資産をお返しすることが受益者の皆さまにとって最善であると考え、信託終了（繰上償還）の手続きを行わせていただきました。書面決議の結果、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上の賛成があったことから、2020年5月20日をもちまして繰上償還となりました。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じる場合がありますのでご了承ください。

グローバル・エクセレント・マザーファンド

第13期 運用状況のご報告

償還日：2020年5月19日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）の中から、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式、およびこのような企業に成長していくことが見込まれる企業の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	世界の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		S & P 500 指数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率	(参考指数)			
(設定日) 2008年2月28日	円 銭	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
	10,000	—	1,380.02	—	329.39	—	—	—	3,129
1期(2009年2月26日)	5,081	△49.2	764.90	△44.6	172.31	△47.7	93.0	—	709
2期(2010年2月26日)	6,852	34.9	1,102.94	44.2	243.29	41.2	91.4	—	571
3期(2011年2月28日)	7,488	9.3	1,319.88	19.7	284.12	16.8	91.1	—	390
4期(2012年2月27日)	7,239	△ 3.3	1,365.74	3.5	264.77	△ 6.8	96.4	—	253
5期(2013年2月26日)	8,596	18.7	1,487.85	8.9	288.40	8.9	96.9	—	196
6期(2014年2月26日)	11,457	33.3	1,845.12	24.0	338.39	17.3	98.0	—	423
7期(2015年2月26日)	14,181	23.8	2,113.86	14.6	386.76	14.3	97.8	—	171
8期(2016年2月26日)	12,232	△13.7	1,951.70	△ 7.7	326.54	△15.6	89.8	—	115
9期(2017年2月27日)	14,336	17.2	2,367.34	21.3	370.01	13.3	96.2	—	123
10期(2018年2月26日)	16,353	14.1	2,747.30	16.1	381.16	3.0	95.5	—	145
11期(2019年2月26日)	17,193	5.1	2,796.11	1.8	372.18	△ 2.4	93.8	—	72
12期(2020年2月26日)	18,565	8.0	3,128.21	11.9	404.60	8.7	87.8	—	63
(償還時)	(償還価額)								
13期(2020年5月19日)	16,966.89	△ 8.6	2,953.91	△ 5.6	341.59	△15.6	—	—	52

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額は当初設定元本。

(注) S&P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数は、当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。なお、両指数とも当該日前営業日の現地終値を使用しております。

(注) 株式先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

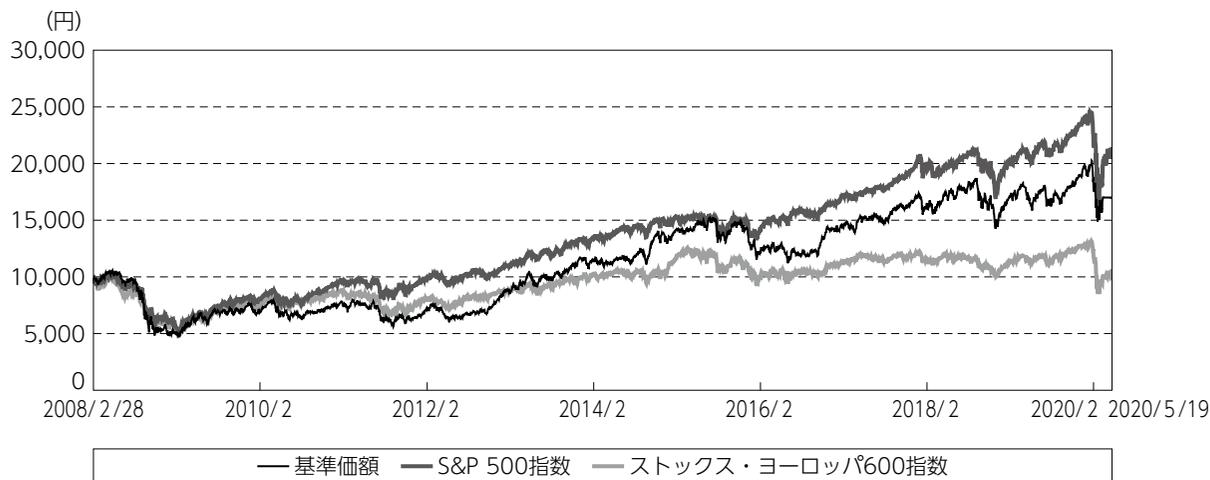
年 月 日	基 準 価 額		S & P 5 0 0 指 数		ストックス・ヨーロッパ600指数		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円 銭	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2020年2月26日	18,565	—	ポイント 3,128.21	—	ポイント 404.60	—	87.8	—
2月末	17,867	△ 3.8	2,978.76	△ 4.8	389.45	△ 3.7	85.6	—
3月末	16,568	△10.8	2,626.65	△16.0	314.88	△22.2	85.6	—
4月末	17,000	△ 8.4	2,939.51	△ 6.0	347.06	△14.2	—	—
(償還時) 2020年5月19日	(償還価額) 16,966.89	△ 8.6	2,953.91	△ 5.6	341.59	△15.6	—	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の運用経過

設定以来の基準価額等の推移

(2008年2月28日～2020年5月19日)



(注) 参考指数は、S&P 500指数およびストックス・ヨーロッパ600指数です。

(注) 参考指数は、設定日（2008年2月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

設定以来の投資環境

(2008年2月28日～2020年5月19日)

世界株式市場は、設定日から2009年3月にかけては、米国の金融機関の破綻など信用不安が高まる中、景気悪化の深刻化が懸念されたことから下落しました。その後、2009年末にかけては景気対策への期待と金融システム不安の解消を受けて株価は反発しました。2010年から2011年にかけてもみ合う局面が続いた後、2012年から2015年前半にかけては、米国の金融緩和策が長期化するとの見方が続く中、景気や企業業績の回復期待の高まりを背景に上値を試す展開が続きました。2015年後半から2016年初頭にかけては、ギリシャの債務問題や中国人民元の実質的な切り下げを受けて、世界的に景気減速懸念が強まり、下落しました。2016年3月から2018年初頭にかけては、欧州金融機関の財務問題への警戒感が後退したことや、米大統領選挙に勝利したトランプ氏が財政出動や金融規制緩和を行うとの期待が高まったことから、上昇基調が続きました。2018年2月から12月にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げが懸念されたことに加え、米中通商摩擦への警戒感が強まったことから下落しました。2019年は、FRBが景気の下支えに前向きな姿勢を示し、金融緩和期待が浮上したことや米中通商摩擦への懸念が後退したことから上昇しました。2020年に入ってから償還日にかけては、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念から変動の激しい展開となりました。

設定以来の当ファンドのポートフォリオ

(2008年2月28日～2020年5月19日)

運用にあたっては、相対的に市場シェアの高い製品・サービスを有し、収益力・財務体質・マーケティング戦略に優れ、グローバルな経済成長の恩恵が期待される企業の株式に投資を行いました。マクロ環境や企業業績動向を分析し、セクターウェイト及び銘柄選択を重視した投資を行いました。エリア別では、基本的には米国や欧州などの先進国のウェイトを高位としましたが、新興国において金融緩和による景気回復期待が高まる局面では、新興国のウェイトを引き上げる対応をとりました。2020年4月上旬には、償還に向けて保有株式の売却を進めました。なお、組入外貨建て資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いませんでした。

設定以来の当ファンドのベンチマークとの差異

(2008年2月28日～2020年5月19日)

当ファンドの設定以来の基準価額は上昇となりました。当ファンドは特定のベンチマークを設けておりませんが、参考指数としているS&P 500指数、ストックス・ヨーロッパ600指数はともに上昇しました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年2月27日～2020年5月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 8 (8)	% 0.049 (0.049)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.005 (0.005)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	50 (47) (3)	0.293 (0.273) (0.020)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、カストディアンに支払う認証費用等
合 計	59	0.347	
期中の平均基準価額は、17,145円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2020年2月27日～2020年5月19日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
	ユーロ	—	—	22	365
	ドイツ	—	—	2	9
	フランス	—	—	3	50
	オランダ	—	—	0.4	2
国	スイス	—	千スイスフラン	0.3	千スイスフラン
	香港	—	—	43	千香港ドル
					132

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○株式売買比率

(2020年2月27日～2020年5月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	49,213千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	50,432千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.97

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

○利害関係人との取引状況等

(2020年2月27日～2020年5月19日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株 式	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 49	百万円 1	% 2.0

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売 買 委 託 手 数 料 総 額(A)	27千円
う ち 利 害 関 係 人 へ の 支 払 額(B)	1千円
(B)／(A)	7.0%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはOKASAN SECURITIES TOKYO/JAPANです。

○組入資産の明細

(2020年5月19日現在)

有価証券等の組入れはございません。

外国株式

銘柄	期首(前期末)	
	株数	数
(アメリカ)	百株	
BLACKROCK INC	0.2	
JPMORGAN CHASE & CO	1	
S&P GLOBAL INC	0.5	
MASTERCARD INC - A	1	
NEWMONT CORP	3	
SALESFORCE.COM INC	1	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	1	
TJX COMPANIES INC	1	
VISA INC-CLASS A SHARES	1	
DANAHER CORP	3	
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	2	
ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	1	
AMAZON.COM INC	0.1	
APPLIED MATERIALS INC	1	
COMCAST CORP-CLASS A	1	
ALPHABET INC-CL A	0.2	
BOOKING HOLDINGS INC	0.1	
XILINX INC	1	
APPLE INC	1	
BROADCOM INC	1	
JD.COM INC-ADR	1	
小計	株数	22
	銘柄数	21
(ユーロ・・・ドイツ)		
CONTINENTAL AG	1	
DAIMLER AG-REGISTERED SHARES	1	
小計	株数	2
	銘柄数	2
(ユーロ・・・フランス)		
ALSTOM	1	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	0.4	
CHRISTIAN DIOR SE	0.2	
DANONE	1	

銘柄	期首(前期末)	
	株数	数
HERMES INTERNATIONAL	0.3	
小計	株数	3
	銘柄数	5
(ユーロ・・・オランダ)		
AIRBUS SE	0.4	
小計	株数	0.4
	銘柄数	1
ユーロ計	株数	5
	銘柄数	8
(スイス)		
ROCHE HOLDING AG-GENUSSSCHEIN	0.3	
小計	株数	0.3
	銘柄数	1
(香港)		
LENOVO GROUP LTD	40	
TENCENT HOLDINGS LTD	3	
小計	株数	43
	銘柄数	2
合計	株数	70
	銘柄数	32

(注) 株数の単位未満は切捨て。ただし、株数が単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2020年5月19日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 52,458	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	52,458	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2020年5月19日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	52,458,200
コール・ローン等	52,458,200
(B) 負債	171
未払利息	78
その他未払費用	93
(C) 純資産総額(A-B)	52,458,029
元本	30,917,873
償還差益金	21,540,156
(D) 受益権総口数	30,917,873口
1万口当たり償還価額(C/D)	16,966円89銭

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.696689円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は34,251,455円、期中追加設定元本額は667,863円、期中一部解約元本額は4,001,445円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

グローバル・エクセレント・オープン (愛称 世界連峰)
30,917,873円

○損益の状況 (2020年2月27日～2020年5月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	87,049
受取配当金	89,184
受取利息	56
支払利息	△ 2,191
(B) 有価証券売買損益	△ 5,678,466
売買益	294,188
売買損	△ 5,972,654
(C) その他費用等	△ 168,913
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 5,760,330
(E) 前期繰越損益金	29,336,741
(F) 追加信託差損益金	525,407
(G) 解約差損益金	△ 2,561,662
償還差益金(D+E+F+G)	21,540,156

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

- ・「グローバル・エクセレント・オープン (愛称 世界連峰)」が繰上償還となり、当ファンドを投資対象とする証券投資信託がなくなることから、投資信託約款の規定に基づき投資信託契約を解約し、2020年5月19日をもちまして繰上償還となりました。